

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム「庄司屋敷」

## 目標達成計画

作成日: 令和4年9月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束委員会を定期的で開催しているが、開催状況が把握しづらい。議事録を残すなど記録として明確に残していく。	運営推進委員会のメンバーを、身体拘束委員会のメンバーとして開催状況を議事録へ残す。	2ヶ月に一回行っている運営推進委員会の後、委員会へ参加したメンバーを、身体拘束委員会として、身体拘束について話し合った内容を、記録として議事録に残していきます。	6ヶ月
2	10	コロナ禍により、地域の感染状況に応じて入居者と直接面会することを制限している。母体法人よりタブレットを支給されているが、オンラインでの面会など有効に活用されていない。	本社より支給されているタブレットを有効に使い、ご家族が入居者と交流を持てるようにして行く。	本社より支給されたタブレットを有効に使えるように、職員が使用方法を理解しご家族と連絡を取り、事前に予約をとって頂き、オンラインやZOOMでの面会を可能にしていく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。